

第3回能美市地域公共交通協議会

議事録

日時：令和6年12月18日（水）10：00～11：00

場所：能美市役所本庁舎 1階 大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

副会長 あいさつ

※委員19名中18名出席 うち代理2名

3. 議 事

議案第8号 令和6年度辰口中学校冬季通学利用バスの運行について

[事務局より資料に沿って説明]

【委員意見等】

- ・(委員) ご存知のとおり乗務員不足が慢性化しており、通常の業務に加え中学校のスクールバスを運行すると1日14時間ほどの拘束となるため、今年度は対応可能であるが来年度からは厳しいのではないかと考えていると、社長から言付かっておりますので、ご報告します。
(事務局)⇒ 事前に承っている。通学距離が長く山手で積雪も多いエリアのため、例年このような対応をとっている。今後教育委員会とも協議検討を進めていきたい。
- ・(委員) 利用者数の予測は行っているか。
(事務局)⇒ 資料に記載している対象者アンケート結果より、利用すると回答した人の最大数に対応できる運行体制をとる。悪天候時は運行を行わないなど、直前で内容を変更することが難しいため、運行事業者と協議の上、説明した通りの運行を行う。

議案第8号について、原案のとおり承認

議案第9号 国造地区等における交通空白地の認定について

[事務局より資料に沿って説明]

【委員意見等】

- ・(委員) 交通空白地の認定について、私は賛成する。
スケジュールがかなり詰まっていると思うが、その中で運行管理者をどうするかというのが一番の課題だと思う。また、地元ヒアリングの結果の記載があるが、利用者の不安が見て取れ、これを払しょくする必要があると思う。この二点を念頭にスピード感をもって行わないと間に合わないと思うので、がんばってもらいたい。

- ・(委員) 運行の形態について、ライドシェアというよりは、AI オンデマンド乗合に見える。本来のライドシェアはドライバーが好きなきに好きな場所に行き、それに同乗させてもらうというものであると思うがルート・停留所が決まっており、乗合とどう区分けしていくのか、何がメリットなのかを明らかにする必要があると思う。また、運行管理・車両管理の委託先はどこまで絞れているか、車両管理や保険もどうするのか詰めていく必要があると思う。
(事務局)⇒ 運行形態は、ルート・ダイヤが決まっている乗合というよりは、登録したドライバーが、時間の空いているときや何かのついで所定の時間帯で行ってもらうため、登録者がいない場合は運行できない。多くの協力者を確保することが前提にある。委託先の選定に難航しているが、予約オペレーション・運行管理業務について交渉中の事業者はいる。保険についてはドライバーが独自で加入しているもので対応してもらう方法を考えており、それを越えた分について別途市の方で対応する形を想定している。

- ・(委員) スケジュール感がかなり厳しいと思う。今回は交通空白地の認定ということだが、全容がわかるようでわからない中身になっていると感じた。どんな車両サイズでやるのか、ドライバー都合での運行になるがそれが利用者に受け入れられるのか、利用者目線で考えなければならないことが多くあると思う。形として見えてくるものがあればその都度委員の皆様へ情報共有してもらおうとよい。申請を受ける国側としても五月雨で構わないので情報共有を行ってもらいたい。
(委員) かなり厳しいスケジュール感だが、やっぱり実施しないということはあるのか。また、どのように判断するのか。
(事務局)⇒ ご意見のとおりかなり厳しいスケジュール感となっていることは事務局でも自覚している。一番の要は運行管理・オペレ

ーター業務を受けてもらえる事業所があるかどうか、ドライバーが確保できるかどうかと考えている。運転手について、当該エリアにおいて75歳以上の人が335人おり、のみバスを使えない、荷物を運べない人がライドシェアを使うと考えると、実質の利用者は50名以下となると思っており、ドライバーがやや少なくとも実装可能と考えている。そういったこともふまえ引き続き検討し次回協議会にて皆様にご提案できればと思っている。

(委員) 事務局のがんばり次第と聞こえた。引き続き頑張ってもらいたい。

試行実験というやりかたはできないか。

(委員) 無償であれば問題ないが、有償となると国の認定が必要となる。

議案第9号について、原案のとおり承認